

「カリココ」の愛称を提案した島本さん。刈谷市桜町で



## 愛称「カリココ」に決定

### 刈谷駅北再開発ビル交流施設

刈谷市の刈谷駅北側で昨年三月に完成した再開発ビル「アドバンススクエア刈谷桜町」二階にある地域交流施設の愛称が「カリココ」に決まり、同所で二日、お披露目の式典があった。

地域交流施設は高架の歩道で同駅と接続。市の所有で、地元のNPO法人「まちづくりかりや」が指定管理者として運営している。

約二百平方メートルに無料の「滞在スペース」と有料の「滞在ラウンジ」がある。滞在スペースにはテーブルや椅子、ソファがあり、昼食や勉強など思い思いに利用可能。プロジェクトやスクリーンを備える滞在ラウンジは会議などに使え

る。利用は昨年九月に始まり、親しみを感じてもらおうと愛称を公募していた。公募には八十五点が寄せられ、「カリココ」を提案したのは同市の会社員島本大史さん(三三)。「カリヤ・コミュニケーション・コネクション・スペース」の略称で、式典で表彰状を受けた島本さんは「多くの人が交流する場になれば」とあいさつした。愛知教育大の研究者の監修で作成したロゴマークも併せて公表された。

再開発ビルは二十一階建てで、市有地と民有地の計〇・二八畝に建設。一階には飲食店があり、上階は企業のオフィスや住宅となっている。

(諏訪慧)